



## 私立高等学校の受験方法

今回は、私立高等学校の受験方法について、説明します。

### 推薦入試

- ① 高等学校が定めた「基準」に適合している人が受験できる。
- ② 学習成績（5段階評価）に一定の数値が求められる。また、「観点別評価」にも制限が求められるところもある。（「主体的に学習に取り組む態度」の観点がCでないこと 5段階評価に1がないこと など）
- ③ 人物・行動が優れているもの。つまり何事にもまじめで積極的であるか。
- ④ 担任と相談のうえ、「基準」に適合していると認められた場合には、結果としてほぼ合格しています。ただし、入学試験で際立って不十分な場合には不合格もありました。



### 専願入試

- ① 専願は、推薦の基準に達しないが第1希望である場合。また、推薦制度のない高校で第1希望である場合の受験の仕方。
- ② 推薦基準とは別に専願基準を設けている場合もある。

### 併願（一般）入試

- ① 他校（公立高等学校など）が第1希望のときの受験の仕方。
- ② 合格しても入学するかどうかは、公立高校の合格発表を確認してから決めればいいが、初年度納入金の締切日が、公立高校の合格発表日の当日または翌日になっているところが多いので気をつける必要がある。
- ③ 当日の入試得点で合否が決まる。
- ④ 併願にも基準を設けている場合もある。
- ⑤ 公立高校にも合格したけれど、やっぱりこの私立高校がいいから入学する、は認められない公立高校に合格すれば必ず行かなければならない。よく考えて出願する必要がある。

※高校によって、「推薦」・「専願」・「併願（一般）」/「推薦」・「併願（一般）」/「専願」・「併願（一般）」と受験の仕組みが異なるのでよく確かめる必要があります。